

令和7年度
広報広聴委員会
行政調査報告書

令和7年度 広報広聴委員会行政視察報告

広報広聴委員長 青野隆一

令和8年1月22日、秋田県湯沢市議会における市民との意見交換会や広聴活動の実施状況について行政視察をいたしましたので報告いたします。湯沢市議会では、平成25年4月1日に議会基本条例を制定し、令和4年4月から、広聴機能の強化として議会報告会に代わる新たな意見交換会を開始しました。大別すると4つの取り組みをしており、その詳細については次の通りです。

①【議員としゃべろうマチトーク】

(1) 開催の目的 市民に身近で信頼される議会を目指し、市民参加の多様な意見交換の機会を拡充し、議会をより身近に感じていただき、政策立案機関の機能強化に繋げるとしています。

(2) 事業の概要

令和7年7月12日

◇第1会場 午前10時～12時

川連漆器伝統工芸館 (4班14人)

◇第2会場 午後3時～5時頃

雄勝郡会議事堂記念館 (5班20人)



今年度は、昨年度に続き会場を2箇所を設定し実施しました。各会場とも最初に湯沢市議会の活動報告を行いました。次にワールド・カフェ形式により、地域を元気にするアイデアを持ち寄り、グループでの意見交換、代表アイデアの深掘りを市民の皆さんと共に行いました。

(3) ワールド・カフェ方式とは

ワールド・カフェの定義は、カフェでくつろいでいるようになりリラックスした雰囲気のもとで行われる会議のことです。少人数で対話をするすることで、相手の意見を聞きやすく、自分の意見も言いやすいのが特徴です。対話を楽しむことを目的にしているため、お互いの理解を深めながら、さまざまな気付きや自由な発想、アイデアを生み出すことができます。今年度も、対話ツール「えんたくん」を採用して開催しました。お茶やお菓子を自由に食べながら、同じグループで15分間の3ラウンド、議員はスーツではなくラフな服装で参加しています。

②【出張！！なんでも意見交換会】

(1) 開催の目的

市内のさまざまな団体と市政の課題やまちづくりなどについて意見交換を行う新しい取組として、議員と語り合おう「出張！！なんでも意見交換会」を開催します。団体やグループなどの活動内容に沿ったテーマで議員と意見交換を行い、課題の共有や相互理解を深めるとともに、ご意見やご提案などを議会活動に反映させ、政策提言などに生かしています。

(2) 開催状況

令和7年2月18日

◇テーマ ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みについて

◇担当 教育民生常任委員会

令和7年7月15日

◇テーマ 湯沢市における通所介護事業、介護予防事業の現状と問題点

◇担当 教育民生常任委員会

令和7年9月11日

◇テーマ 湯沢の観光資源をどのようにいかしていくのか

◇担当 産業建設常任委員会

③【ゆざわ市民一日議会】

(1) 開催の目的

市民の市政参画を推進し、市議会活動について一層関心を深めていただくことを目的に、市民の皆さんから市政や議会へのご意見やご提案をお聴きする取り組みとして、「ゆざわ市民一日議会」を開催しています。

(2) 開催の概要

令和6年10月27日(日) 13時30分から16時まで

議場において、市民の皆さんが暮らしの中で思われていることなどを発表していただく場を設けます。発言者の皆さんからいただいたご意見やご提案については、議会改革推進会議などで協議し、市政および議会活動に反映させます。当日の議会映像はYouTube(ユーチューブ)で録画放送しています。

④【まちなかプチ議会】

(1) 開催の目的

議会広聴活動の一環として実施しており、市民の皆さんと議員が気軽に「市政のこと」や「議会活動のこと」などについて、まつりやイベントで語り合う場を設けています。

(2) 開催の概要

令和5年10月22日(日)

「まちなかプチ議会 in 秋の公園まつり」

令和6年 5月26日(日)

「まちなかプチ議会 in 市民マルシェ」

令和6年 6月30日(日) 「

まちなかプチ議会 in ストリートマルシェ」



【考察】

湯沢市議会では、さまざまな方法で市民と議会との意見交換会を開催しています。ただし、人集めには苦労されているとのことでした。私たちの場合は、ようやくスタートしたばかりですが、スタイルにこだわらず、日曜日も活用しながら、気軽に市民の声を聞く場を作ることが大切だと思いました。また、議場内の活動だけではなく、市民のいるところへ出かけていくことも含めて、いかに議会活動を市民の見える化を実現していくのかなどについてたくさんのヒントをいただきました。広報広聴委員会では、この研修を大いに参考にして、これからの取り組み方法について話し合っていきたいと思います。

各委員所感

菅野修一 委員

湯沢市議会広報広聴委員会の大変先進的な開かれた議会としての広報広聴活動の取り組みを研修し、感動してきたところである。

当市議会では、現在意見交換会の申し込みを待っているところだが、これは市民の側から見れば、非常に敷居が高いと思われているのではないかと気付いたところである。もっともっと議会側がくだけた形で市民と接し、語り合える工夫が必要と痛烈に感じてきたところである。

湯沢市議会広報広聴委員会は、ワールドカフェ方式の「議員としゃべろうマチトーク！！」や「出張なんでも意見交換会」の開催に取り組んでいる。6～7人程度のグループに分かれ、テーマに沿って円卓対話形式で進行し、それぞれの発言（意見やアイデア）を卓上の円盤に書き込んでいく。参加者は平服ノーネクタイで行うことが大事だとのこと。全くその通りと感じた。最後には全員で記念撮影も素晴らしい。

鈴木由美子 委員

議会基本条例の検証結果において、「議会の活動原則」「議員の活動原則」に関する評価から課題として挙げられた「議会としての政策立案・政策提言等の推進や議員の政策立案能力向上」を図るため、専門家や市民等との研修・意見交換の場を多用に設け、議員活動の充実強化に努めていると感じた。

市民の多様な声を政策に活かすため、令和6年度は様々な意見交換会を11回開催されていた。中でも「議員としゃべろう マーチトーク！」は、多様な市民が集まりやすいとのこと。本市の意見交換会では、とかく役付きの方が集まりやすく発言者も多くなり、特に女性や若者が発言しにくいとの不満の声もあるので是非参考として行きたい。

議会改革で最も重要な事は、「政策研究（共通理解）と合意形成（討議）」であると再認識したが、本議会はワンチームになれないのが課題である。

大類好彦 委員

秋田県湯沢市に広報公聴委員会の先進地視察を行った。前もって資料に目を通して行ったが、文章や写真では分からない部分「えんたくん」と言うのがあった。尾花沢市では区長さんなどの役職を持った方に集まって頂いているが、湯沢市ではワールドカフェ形式で一般の方から集まって頂き広聴会を行っている。私は将来尾花沢市でもワールドカフェ形式の広聴会を行いたいと考えている。話を伺って見るとここまで来るのに紆余曲折、大変な苦勞があり今の形になった。やっとなここ一二年上手く行くように成って来たと言うことである。なかでも「えんたくん」という丸い1m位の段ボール紙を数人で膝の上において、円卓に座っている様にして話し合いをすると言う会議のやり方が大変興味深いところで、是非尾花沢市でも真似をしたい所だ。数人で「えんたくん」を膝の上において話し合うことで集中力が増し、意見も出やすいと言

うことだ。尾花沢市でも一気に湯沢市の様にはいかないと思うが、将来は「えんたくん」を利用してワールドカフェ形式の議会報告会・広報公聴会を開催したいと考える。